

東海鉄道OB会報

第13号

平成20年4月



中央本線 落合川駅付近 名古屋機関区支部 加藤 銅一

目次

地本・支部だより

飯田線全線開通七十周年

飯田線建設の功労者

川村カネト合唱劇を後援

飯田支部長 青島貞夫：2

神宮寺参拝とカニグルメの旅

垂井支部長 北村忠行：2

第五回東海大阪地方本部
ゴルフ大会の開催

運輸営業支部 吉見輝男：3

三島支部定期大会開催

三島支部長 大川一雄：3

名古屋地方本部
第三回ゴルフ大会開催

名古屋地方本部 事務局長 加藤寿美夫：4

国際アビリンピックで銅賞

富士支部長 川上惟幸：4

宮中歌会始めて佳作

『カンテラ融雪器に点火』
飯田支部 林 二一：5

平成十九年
秋の生存者叙勲受章者：5

本部事務局からのお知らせ：5

(財)鉄道弘済会の福祉所を、
気軽に利用してみませんか。：5

JR東海トピックス：6

グループインフォメーション：9

読者のひろば：11

駅探訪／「会報への寄稿、
文芸欄への投稿」要領／編集後記：16

地本・支部だより

飯田線全線開通七十周年

飯田線建設の功労者 川村カネト合唱劇を後援

飯田支部長 青島貞夫

JR飯田線の前身の一つ、三信鉄道の測量、建設を指揮したアイヌ民族の技術者川村カネトの生涯を題材とした合唱劇「カネト」が、十月十四日「鉄道の日」に飯田市飯田文化会館で上演されました。

川村カネトは、一八九三年北海道旭川市でアイヌの首長の息子として生まれ、幼年時代に蒸気機関車を見て心を打たれ、鉄道の仕事に就くことを決意、測量技師の資格を取り北海道の鉄道建設に力を注ぎました。



大正末期から昭和初期にかけて、三信鉄道が天竜峡～三河川合間を建設する際測量に従事したが、天竜川に沿った溪谷の地形、岩盤の崩れやすい中央構造線に沿った未開の地であり命がけの測量でした。

その後、天竜峡～門島間の線路工事の現場監督として、地形が険しい上に軟弱地質で水害など悪

条件が重なる難工事を完成させましたが、カネトがアイヌ民族であることから現場人夫から差別を受け、天竜峡トンネル工事は大変な工事でした。今回の公演は、飯田市制施行七十周年・飯田線全線開通七十周年を記念し地元各種団体が協賛し実施されたものです。

実行委員会から鉄道OB会にも協賛依頼があり、幹事会で話し合った結果、鉄道OB会として後援することに決め、チラシによるPR、チケットの販売などを行い、公演当日は、千二百名収容の飯田文化会館に立ち見の人が出るほどの盛況でした。合唱劇中、天竜峡トンネル工事の際、人夫から差別を受けトンネル内で生き埋めにされそうになった場面では、当支部会員下平勝熙さんも熱演されました。

これからも地域に密着した鉄道OB会活動を行いたいと思います。

神宮寺参拝とカニグルメの旅

垂井支部長 北村忠行

垂井支部では、平成十九年十二月三日若狭の神宮寺参拝と、越前カニグルメとして古寺の参拝と豪華食事を目的にバス旅行を実施しました。

古代史をみると、西暦五百七年越前三国を治めてい

た応神天皇五世孫といわれるオオドノ王(大和へ入り天皇に即位して継体天皇)が越前三国を治めていた時、美濃にも影響があり西濃にも文化が伝わっており、広い地域に文化を広めたといわれています。

天皇になられてからは、大陸から若狭を通じて大和地方へ文化を導入して日本の国の国家体制を確立する上に大きな影響を与え、中国の五経博士も若狭を通じて大和へ入っています。その中心となったのが神宮寺といわれています。この神宮寺は関西地方で有名な三月に行われる東大寺二月堂の「お水取り」に対して三月二日「お水送り」が行われるお寺として有名です。

バスで出発した当日は雨模様でしたが、車内は明るく北琵琶湖から通称「サバ街道」(若狭のサバを京都へ運んだといわれる道、奈良・京都へ文化の道)を北へ進めました。街道には宿場町の面影を残すところもあり歴史の重みを感じられました。

神宮寺はお寺と神社が同じところに安置され、仏像に柏手を打って拝むという神仏混合形が残っているお寺です。

東大寺二月堂へ送る水は、境内に沸いていて清らかな水は心を洗ってくれるようでした。それから住職のおはなしがあり「ものこのこだわり」について三十分程正座して聞きました。このお寺のご神体は鈴で内と外と合って鳴らすものとのことです。



ちなみに、若狭は朝鮮語のワカン(往き来)が訛って
当て字にした地名ともいわれています。

若狭から越前へ行きましたが波もおだやかで心配
された雨も降らずカニ料理を満喫し、お互いに交流を
深めました。

増取協力額

ジェイアール東海ツアーズ三十四万二千元

第五回東海大阪地方本部 ゴルフ大会の開催

運輸営業支部 吉見輝男

東海大阪地方本部では、平成十九年十一月九日(金)
朝日野カントリー倶楽部において、会員相互間の一層
の親睦をより図るため
にゴルフ大会を開催し
ました。大会も今回で五
回目となり、三十六名の
参加者の顔ぶれも馴染
みの方や新規参加の方
など友好関係も深まり
ました。

今回会場となりました
朝日野カントリー倶
楽部は滋賀県の東近江
市にあり、開場が昭和
五十一年十月の歴史と
風格のあるタフなコー
スであります。
当日は曇天ではあり
ましたが、参加者全員が



日頃の腕前を發揮すべく、今日こそはこの思いを持ち
真剣な表情でスタートを致しました。

朝日野カントリー倶楽部の特徴は、丘陵コースで
ゆるやかな起伏に富んだスケールの大きなコースで
あり、自然の池や木々を有効に配置したレイアウト
となっております。また、グリーンは微妙なアンジュ
レーションがあり難しかったためか、全体的にスコアが伸
び悩む会員が多く見受けられました。プレー終了後の
表彰式において、成績表が配られると、喜ばれる方、無
念な表情を浮かべる方など、全員がワイワイ、ガヤガ
ヤと盛り上がる中、第五回ゴルフ大会は楽しい幕を閉
じました。

当日の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 運輸営業支部 加藤茂明
- 準優勝 運輸営業支部 小林八郎
- 第三位 運輸営業支部 上田國男

三島支部定期大会開催

三島支部長 大川一雄

十月十四日 旧鉄道記念
日緑りの日、三島市内「リ
オ」で東海鉄道OB会第三
回目の支部定期大会を、会
員・来賓者を含め七十名の
出席を得て盛会裡に開催
した。

三島支部は昭和五十六
年沼津支部から分離独立
以来、四月は年度計画の会



とし、十月に慰安会を兼ねた大会とし、今日に至って
いる。

大会には来賓として三島市長、JR東海三島駅長、
JR東海ツアーズ三島支店長、地方本部長、近隣の支
部長の臨席を頂いているが、当支部では三年前から参
議院議員坂本由紀子先生をお招きし「国会あれこれ」
と題して講演をして頂いている。この国会の生の様子
を聞くことができるということが、会員の心待ちして
いることの一つでもある。坂本先生は三島支部長谷亀
吉会員のご息女であり、大会には何はおいてもと出席
し、講演と膝を交えて懇談してくれている。

今回の大会で二つの特記事項があった。

その一つは、八十八歳の米寿のお祝いの小阪茂氏
が、米寿と併せ、毎年春秋に三島市立公園楽寿園に保
存されているSLC58の清掃を責任者として実施、
その功により東海鉄道OB会本部長表彰を受賞し、
大会の席上でそれを受けることを楽しみにしていた
矢先、逝去され、その意志を継いで奥さんが息子さん
(JR東海社員)同伴で出席受賞されたこと。

その二は、同じく米寿の小林武雄会員が体調を崩し
車椅子の生活をされているが、是非大会に出席したい
と希望され、娘さん二人が同伴して出席されたこと。

大会参加者が大変感激した次第である。

午前の式典が終わり、午後は懇親会に移った。伝統
芸能農兵節の会長が当支部の露木久夫会員であるこ
とから「愛・地球博」で静岡県の代表として大好評を受
けた露木一座選りすぐりの踊り手による農兵節を披
露され、懇親会を盛り上げ相互親睦の支えとなった。

なお、露木久夫会員は「農兵節、三島離子普及、三島
農兵節普及会」で平成十九年度三島市生涯学習功労者
として表彰されました。

名古屋地方本部 第三回ゴルフ大会開催

名古屋地方本部 事務局長 加藤寿美夫

名古屋地方本部では、会員相互の親睦をより深めるために、平成十八年度から地方本部主催のゴルフ大会を始めたが、回を追う毎に好評となり、このたび第三回大会を次の要領で開催しました。

○開催日 平成十九年十一月二十日(火)

○コース 花の木ゴルフクラブ(岐阜県瑞浪市)

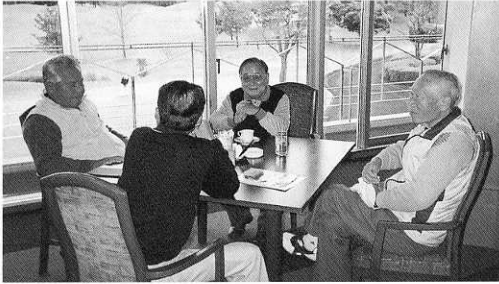
○競技方法 ダブルベリア方式

八時五十分アウト・イン同時スタート

○参加者 十五パーティー(約六十名)

今回は、東海鉄道OB会の齋藤会長が特別参加いただけるということで大会準備を進め、ご本人も参加を楽しみにしておられたところ、開催間際になって急に参加できなくなりましたが、会長から立派な品を賞品に頂戴し、お陰で大会を一層盛り上げることができました。

十一月も終わりに近くなると岐阜県東部の丘陵地域では、吐く息も白く感ずるなど都会人にとっては冬を想わせる季節であったが、一同元気にコースに入りし歳も忘れて意気込む姿が随所に見られました。かなりの参加者が知り馴れたコースとはいえ、整備の行き届い



たコースの距離は非常に長く、又、手入れ十分の各グリーンはいずれも高速グリーンとあって、参加者それぞれが悪戦苦闘を強いられ、やっとの思いのホールアウト後は浴場に急ぐ始末。

コンペ室で一同揃って歓談するうち、ゴルフ場配慮の成績表が到着、配付されて表彰式に入り、地方本部が用意した多くの賞品を、大会会長の平井地方本部長から手渡し、会長特別賞は、地方本部長の機知に富んだ配慮で会場を大いに沸かし、次回の開催を約して散会しました。

当日の上位入賞者等は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 三河支部 相川 富雄(七五会)
- 準優勝 西濃支部 杉原 政敏
- 第三位 四日市支部 佐藤 隆一
- 会長特別賞 名古屋機関区支部 杉本 昌彦

なお、花の木ゴルフクラブは、東海鉄道OB会員は会員証の呈示で優待プレーが出来るようになっていきます。お誘い合せのうえプレーを楽しんで下さい。(東海鉄道OB会員と名乗ってスタート予約して下さい。)

増田中夫会員が 国際アビリンピックで銅賞

富士支部長 川上 惟幸

十一月十七日、障害者国際技能五輪(アビリンピック)が静岡市で開催され富士支部の増田中夫会員七十七歳が、今回の国際アビリンピックに日本代表として機械・組立てに出場し銅賞を獲得した。

増田会員は、マウンテンバイク部門に出場、持ち時間三時間の範囲内で完成車の解体から組立てまでを実施。解体作業は全ての部品を車体から取り外し、特



に後輪は車体から外して、リムからタイヤ・チューブ・スポークはピスを緩めてから、一本残らずピスとともに取り外して約三十分で解体完了。審査委員の審査を受け、OKが出てから組み立て作業に入ったが、増田会員曰く「一番気を使ったのは、

リムにスポークを取付け、寸分の狂いがないように調整したこと、また各部品を取付け作業中「手順を間違えて焦ってしまった」ことだという。残り時間十分前のコールがあり、応援見学の人の人が本人以上に興奮して、声を出しての応援は禁止となっているのに、時間が無い早く「二十四段変速」のギヤを調整しなくはと、応援団の焦りは益々熱気が入り、競技時間終了のコールとともに漸く組立てが完了した。競技者本人は、時間の制約と細かい部品に、神経を集中し大変だったと思うが、応援団も完成したマウンテンバイクに胸をなで下ろし、大きな拍手で健闘を称えた。翌日審査発表があり、世界の強豪に引けを取らず見事に三位銅メダルに輝いた。

増田会員が自転車に興味を持ったのは、鉄道教習所機関士科の研修で自転車工場を見学し、ベアリングのグリスアップの作業に魅せられたこと、また機関士当時椅子に座りきりの姿勢で腰痛に悩み、余暇を見つけては自転車走らせたこと。

退職後、地域の自転車店で三年間修業、自転車工業組合に加入し開業した。また、障害者となったのは、十年前心臓病を患い心臓に器具を挿入したことで、現在障害者の認定を受けている。今回の大会出場は国の代表である以上に、鉄道OB会の代表として出場するのだと、固い決意を表明しての出場であり、OB会からの心強い激励文や応援があった賜物と感謝している。今後は後進の指導に当たるとともに、次回を目指してより上位の成績をと闘志を燃やしている。

宮中歌会始めて佳作 『カンテラ融雪器に点火』

飯田支部 林 二一

昼の雨雪となりきて駅構内の
カンテラ融雪器に火を点しゆく

小林正人

皇居で開かれた宮中歌会始めて、飯田支部の小林正人さん(七十歳)の作品が佳作に選ばれた。今年のお題「火」には国内外から二万二千三百二十一首が寄せられ、入選者は十人、佳作者十三人。

「佳作」は、選歌に次ぐ優れた詠進歌として昭和三十七年から公表されている。

小林さんは在職中の昭和五十五年(地元の歌人、下平貞夫さんの勧めで歌の道に入った。現在は高森町老人大学短歌班講師を務めながら、南信州短歌教室で学んだり、地元の歌会に参加して研さんを積んでいる。

小林さんが飯田駅に勤めていた二十年ほど前、駅構内にはいくつもの線路と車両を他の線路に導く転轍器があった。冬口になると線路下にカンテラ融雪器をおき、雪が降ると昼でも夜でも職員が火をたいて雪を溶

かして、転轍器が転換できるようにしていたという。防寒着をまとい雪に足を取られながら、列車の合間をぬって点火する人々。やがてカンテラ融雪器も電気融雪器になるなど機械化、近代化が進められ、現場の厳しい作業からは開放された。

コンピュータの操作一つでさまざまなことができようになった今の時代に、かつてのカンテラ融雪器の炎の揺らぎを思うとき、国鉄の歴史と時代、陰で苦勞していた国鉄職員を思い出すのだという。

本人は、佳作の知らせに驚くと共に喜びが今後とも心をひきしめて思いを歌にする大切さを伝えていきたいと話している。

平成十九年秋の生存者叙勲受章者

東海鉄道OB会会員で、次の方が地方自治功勞で平成十九年秋の生存者叙勲を受章されました。

おめでとうございました。

旭日双光章 持塚誠市様(金谷支部)

● 本部署事務局からのお知らせ

このほど、東海鉄道OB会本部署事務局に各地方本部及び各支部から、最新の情報等を受けるためパソコンにメールアドレスを設定しました。

この設定により、会員の皆様からOB会報への投稿或いは意見、また各地方本部、支部からの近況報告等を気軽に寄せ下さい。

メールアドレス

- ① cjrob-1@waltz.ocn.jp
- ② cjrob-2@waltz.ocn.jp
- ③ cjrob-3@waltz.ocn.jp

(財) 鉄道弘済会の福祉所を、 気軽に利用してみませんか。

- ご相談・ご案内の費用は一切ありません。
 - ご相談の内容は秘密厳守します。
- ワーカーがご相談に応じます。

年金相談

年金(遺族年金)の手続きが分からない



遠距離のため両親を見守って欲しい



ひとり暮らしで話し相手がほしい



病気や障害で困っている



連絡先

〒四五〇〇〇〇二二

名古屋市中村区名駅三丁目二二六(交通ビル七F)

(財) 鉄道弘済会 名古屋福祉所

電話(〇五二五六二一六〇六〇)

福祉主事 高木光男 福祉主事 大庭勝徳

〒四二〇〇〇三三三

静岡市葵区昭和町一〇一八

(財) 鉄道弘済会 静岡福祉所

電話(〇五四二二二一八九七二)

福祉所長 大橋正博 福祉主事 永田俊雄

(注) 東京・大阪地区については、とりあえず名古屋福祉所に連絡下さい。

JR東海ト

ピックス

東海鉄道事業本部
新幹線鉄道事業本部

さらなる利便性向上を図る

3月15日ダイヤ改正

当社は3月15日にダイヤ改正を実施します。
主な改正点は以下の通りです。

JR東海の社内誌「おれんじ」1月～3月号の記事を抜粋して掲載しています。

◎東海道新幹線関係

■N700系が毎時1本に

東京～博多間の「のぞみ」毎時2本のうち1本など、43本の列車がN700系になります。改正以降もN700系で運転する列車を順次増やしていきます。

■東海道・山陽新幹線直通列車が一段と便利に

前回の改正で誕生した品川6時始発「のぞみ」に加え、今度は新横浜6時始発、N700系広島行き「ひかり」が誕生。小田原・静岡にも停車します。新大阪に8時15分着。首都圏から関西方面への一番列車になります。ほかに、朝の名古屋から博多への「のぞみ」・西明石・博多各6時始発など朝の山陽方面から東京への「のぞみ」・夕方の山陽方面への「のぞみ」を増強します。

■東京～広島間「のぞみ」毎時3本体制に 広島への「のぞみ」はこれまでの毎時

2本から毎時3本の運転に。東京、品川、新横浜を20分間隔で発着します。

■全列車が品川・新横浜に停車

「のぞみ」「ひかり」も全ての列車が品川、新横浜停車に。両駅でご利用いただける「のぞみ」「ひかり」の本数は、約1.5倍と飛躍的に便利に。また、名古屋・関西からご利用の際は列車を選ばずご乗車いただけます。

■「ひかり」が便利に

東京～岡山間を毎時1本運転する「ひかり」が、静岡、浜松停車に。この「ひかり」は新大阪で博多発着の「のぞみ」にも接続。静岡、浜松から広島や九州へも一段と便利に。

新横浜6時始発「ひかり」増発のほか、新大阪を20時台に発車する「ひかり」を2本に増やします（現行は1本）。小田原、静岡、浜松、豊橋の各駅で「ひかり」の停車回数を増やします。

■「こだま」も充実

新大阪19時50分発の三島行き「こだま」を増発します。

東京19時56分発の「こだま」（現在は浜松止まり）を名古屋行きに区間延長。名古屋で新大阪行き「のぞみ」に乗り換えができるようになり、小田原～三河安城間の各駅で新大阪まで行ける最終時刻が繰り下がります。

◎在来線関係

特急列車と名古屋都市圏の快速・普通列車を中心に、利便性をさらに高めます。

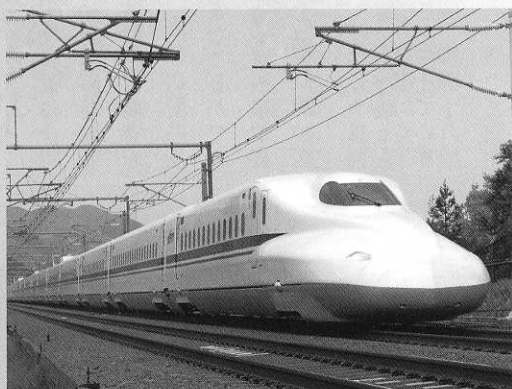
●特急列車

新幹線の改正に合わせて、新幹線と各線区特急列車の接続確保のため時刻を変更するほか、「しなの」や「ひだ」「ふじかわ」「伊那路」の一部列車を、より利用しやすい時間帯の設定とします。

●快速・普通列車

中央本線では、昼間時間帯の名古屋～高蔵寺間で普通列車を増発し、運転間隔が7～8分の、待たずにお乗りいただける便利なダイヤとします。また、名古屋～中津川間の夕方から夜にかけての通勤時間帯でも快速列車を増発します。東海道本線では、朝夕の通勤時間帯を中心に、名古屋と各方面とを結ぶ快速・普通列車を増発します。

このほか、静岡地区などの各線でも、利便性向上のためのダイヤの改善を行います。



◆ JR東海トピックス ◆

東海道新幹線
21世紀対策本部

自己負担を前提とした

東海道新幹線バイパスの 推進について

昨年12月の取締役会において、これまで検討を進めてきた超電導リニアによる東海道新幹線バイパスについて、

①その第一局面としての首都圏～中京圏の路線建設を全国新幹線鉄道整備法による中央新幹線として自己負担を前提に手続きを進めること

②現在進めている地形、地質等調査に加えて同法が定める残りの調査指示を早期に受けること

③この法律の適用に関する基本的な事柄について国土交通省へ照会すること

の3点を決定し、直ちに公表しました。今後は、この方向で具体的なプロセスを踏み出すとともに必要な手続きを行っていきます。

このバイパスは、健全かつ安定した経営の維持、絶対の安全の上にご計画実現できるものです。社員一人ひとりが日々の仕事を確実に、能力を高め、会社全体の総合力を結集して取り組んでいきたいと思います。



▲適時開示後、記者に対して話をする松本社長

総合技術本部

「最新・最速・最良の車両」N700系の開発活動が

平成19年度「地球温暖化防止活動環境大臣賞」を受賞

当社は、このたび「平成19年度 地球温暖化防止活動環境大臣賞」を受賞しました。これは、地球温暖化防止に関して顕著な功績のあった個人または団体に対して贈られるもので、当社の受賞は、東海道新幹線を中心とした省エネ型車両の積極的な開発・導入と運転エネルギーの削減実績に対する平成15年度の受賞に続き2回目です。

今回は、「最新・最速・最良の車両」として昨年7月に営業運転を開始したN700系の開発活動に対して表彰をいただきました。当社では、会社発足以来、これまで一貫して、地球環境への負荷が少ない鉄道の利便性を総合的に向上させるための各種施策や、鉄道の特性をさらに向上させるための技術開発に取り組んでいます。これまでの当社の施策とそれを支える社員一人ひとりの取り組みが高く評価されたものと考えられます。

12月17日には表彰式が行われ、松本社長が鴨下環境大臣より表彰状を受け取りました。



▲表彰式の様子



◆ JR東海トピックス ◆

人事部

優れたマネジメント事例を紹介

現場長マネジメント全社発表会

2月7日、名古屋マリオットアソシアホテルで、第5回現場長マネジメント全社発表会を開催しました。

社員の意欲と能力を最大限引き出すことにより、職場の課題を推進し達成することとは、現場長のマネジメントによるところが大きく、この発表会は、その優れた事例を広く紹介することにより、現場長の力量をさらに高め、職場の活性化に役立ていくことを目的に開催しているもので、各鉄道事業本部・支社・支店の代表7名の現場長が発表しました。

発表会には、松本社長をはじめとする会社幹部と100名を超える現場長が参加しました。開会にあたり松本社長からは、「最近、現場を訪問すると、職場の力が一段と強くなっているのを感じる。本日の発表は、現場長がそれぞれの職場に即した目標



▲発表会の様子



▲登内静岡運輸 区長



▲原田東京信号 通信事務所長



▲平田名古屋工場 台車職場長

発表 現場長



▲西沢品川駅長



▲花本大垣信号通信 区長(当時/現、安全 対策部副長)



▲吉田松阪工務 区長



▲下山田新大阪 駅長

参加した現場長にとっては、現場長マネジメントのエッセンスを自らの職場に活かす方法について考える機会となりました。今後とも優れたマネジメント事例の発見・育成・推奨を行い、会社全体のマネジメント力の向上に取り組みたいと考えています。

を設定し、実現に向けたプロセスを考え、考え抜いて実践することにより、大きな成果を達成した事例である。現場長の皆さんは発表の内容をよく理解し、それぞれの職場に合った形で活用して欲しい」との挨拶がありました。

■平成20年参加大会予定表

大会名	期日(予定)	場所
静岡大会	4月 9日~13日	県営草薙球場他
岡山大会	4月18日~22日	倉敷市営球場他
ペーフルース杯大会	5月 3日~ 6日	岐阜長良川球場他
都市対抗野球大会 東海地区予選	予選リーグ戦	岡崎市民球場
	予選トーナメント戦	岡崎市民球場
	6月17日~ 6月27日	
北海道大会(甲)	8月 6日~10日	札幌円山球場
	8月 8日~11日	高山中央公園他
都市対抗野球大会	8月29日~ 9月9日	東京ドーム
日本選手権大会東海地区予選	9月27日~10月5日	岡崎市民球場
伊勢大会	10月17日~21日	伊勢倉山球場
JR大会	10月下旬開催予定	香川県営野球場
愛知県野球連盟会長杯大会	11月 1日~ 3日	未定
日本選手権大会	11月13日~23日	京セラドーム大阪

*大会期日については、変更となる場合があります。
※(注)都市対抗野球大会東海地区予選で代表となった場合、北海道大会もしくは高山大会に出場します。



平成20年の硬式野球クラブの試合日程が決定しましたのでお知らせいたします。今年、7名の有望な新戦力を加え、チーム一丸となり激戦区の東海地区を勝ち抜き最終目標である「日本」を目指してまいります。社員・ご家族の皆さまには、ぜひとも各大会へ足を運びいただき多くのご声援を賜りますようお願いいたします。

硬式野球クラブ 事務局

「雪辱・奪回・栄冠」を合言葉に

硬式野球クラブ 平成20年試合日程

■家接監督コメント

日頃より野球クラブに対して多大なご支援・ご声援を賜りまして心より感謝申し上げます。昨年は都市対抗野球大会及び日本選手権野球大会への出場を逃し大変悔しいシーズンでありました。今シーズンは代表権奪回という明確な目標のもと春先から好スタートが切れるようチーム一丸となって取り組んでまいります。「雪辱・奪回・栄冠」を合言葉に日々邁進していきたいと思っております。ご支援・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

硬式野球クラブに新人7名が加わりました。



①事業推進本部②175cm・72kg・左投・左打③日本航空高校→愛知学院大学



①東海鉄道事業本部 運輸営業部管理課②177cm・70kg・右投・右打③佐伯聖南高校→九州産業大学



①建設工事事務部 建築工事課②175cm・72kg・右投・右打③土岐商業高校→専修大学



①広報部②180cm・85kg・右投・右打③創価高校→創価大学



①建設工事事務部 電気工事課②176cm・72kg・右投・右打③甲西高校→東亜大学



①東海鉄道事業本部 管理部管理課②166cm・71kg・右投・左打③長崎商業高校→西南学院大学



①建設工事事務部 土木工事課②175cm・73kg・右投・右打③東農大三高校→東京農業大学

///グループインフォメーション



確かな物流サービスを提供

ジェイアール東海物流(株)

当社は、平成 11 年 4 月に設立し、今年で 9 年目を迎えました。

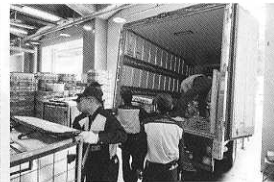
本社を名古屋に置き、東海道新幹線エリア内に東京支店と 12 営業所を構え営業活動を行っており、主な事業は鉄道資機材輸送、百貨店関連物流、駅内物流、引越しです。

鉄道資機材輸送事業では、最近、N700 系新幹線の増備に伴う車両部品の配送等を行うなど、東海道新幹線の安全・安定輸送確保に物流面から貢献しています。

百貨店関連物流では、ジェイアール東海高島屋や東急ハンズなど



▲法令・環境適合車で安全・
確実な輸送



▲定時・定型的に商品を安定供給

の商品の配送や検品、高島屋店内での販売補助業務を行っており、お客さまにご満足いただけるサービスの提供に努めています。

駅内物流事業では、東京駅で新幹線の車内販売ワゴンの仕立てと、積み卸しや車内飲料自動販売機の商品補充などを行い、お客さまへのサービス業務の一端を担っています。

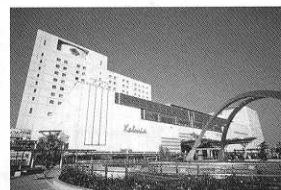
引越し事業では、JR 東海社員の転勤に伴う引越し、事務所の移転業務などを行っています。その他にも産業廃棄物収集運搬を行うなど、JR 東海グループにおける多様なニーズに対応しています。

地域ナンバーワンのショッピングセンター目指して Kalmia 豊橋ステーションビル(株)

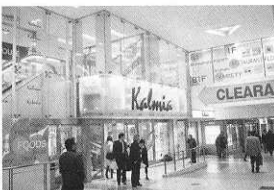
皆さんは、豊橋駅ビル「カルミア」の由来をご存知でしょうか？ 実は豊橋市の花「つつじ」の仲間、別名「アメリカしゃくなげ」から命名されています。そして花言葉は「大きな希望」です。

全社員約 30 名と駅ビルとしての規模は小さいですが、その分会社全体の結束は堅く、1 人ひとりが「大きな希望」を持って、94 店舗の管理・運営業務を行い、よりお客さまに満足していただける施設を目指して日々頑張っています。

営業部の業務は、開店時のお客さまのお迎えから、日々の売上チェック、コインロッカーやたばこ販売などの直営事業に加え、店舗ヒアリング、販売促進策の検討、テナントリーシング業務と多岐にわ



▲豊橋駅ビル「カルミア」



たります。また、総務部・管理部の業務は、会社全般の管理、経理業務、店内設備や駐車場の管理、警備業務と様々です。

昨年 10 月には、2 階北館食料品売場の営業時間を 1 時間延長して 21 時までとし、お客さまからは便利になったと大変ご好評いただいています。また、現在は、豊橋駅南口自由通路開通にあわせて、3 月、4 月と 2 回に分けてリニューアルを行う予定です。春には新しくなった「カルミア」が誕生いたしますので、ご期待ください。

これからも地域 No.1 のショッピングセンターを目指し、常に一歩先をリードしていくように社員一丸となって全力疾走してまいりますので、豊橋にお越しの際はぜひカルミアでお買物を！



高品質のサービス、味、空間を提供

静岡ターミナルホテル(株)

「ホテルアソシア静岡」は、昨年 9 月にリニューアルオープンし、JR 静岡駅の玄関口にふさわしい洗練された上質なホテルに生まれ変わりました。

静岡らしさを随所に表現している開放感のあるロビー、機能性を重視した居心地の良い客室、最新設備を備えた宴会場と、ほぼ全ての施設で改装を行いました。中でも注目いただきたいのはレストラン。アソシアホテルズ&リゾーツで実績を持つ日本料理「華雲」、中国料理「梨杏」、鉄板焼「那古亭」など 6 つのレストラン&バーと、イタリア料理の巨匠・片岡護氏の「アルポルト」が静岡に登場し、ご家族連れからご接待の御席までお客さまから高い評判をいただいております。

ホテルアソシア静岡は、「静岡ターミナルホテル」の時代から今年で開業 25 周年を迎えます。今まで培ってきた伝統や信頼を大切にしながら、静岡トップホテルの地位を確固たるものとするため、より一層充実した高品質のサービス、味、場所を提供してまいります。スタッフ一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



▲客室「デラックスツイン」



▲イタリア料理「アルポルト静岡」



2008
SPRING

いつでも誰でも気軽に参加できる

さわやかウォーキング

参加費無料
一部のコースを除く

予約不要
一部のコースを除く

駅がスタート!
一部のコースを除く

3/20(祝) ~ 6/29(日) 土・日・祝
開催



名古屋・飯田地区
47コース

カメの
キャラクターは
「あゆむ君」に決定!



静岡地区
39コース

あなたが作る
さわやかウォーキング
大募集



さわやかウォーキングに、
便利でお得なきっぷ。

名古屋地区:青空フリーパス
静岡地区:休日乗り放題きっぷ

JR東海ホームページ <http://jr-central.co.jp>

写真はイメージです。

開催については、JR東海の駅にある専用パンフレット又は、ホームページをご覧ください。

読者のひろば

わが家の猫物語

静岡支部 荻澤茂治

人に話したところで、信用してもらえない内容ではない。むしろ一笑に伏されてしまう奇々怪々の話である。題して「わが家の猫物語」がそれである。私は五年前に、十時間におよぶ心臓の手術を受けた。そして退院後も毎月一回の定期健診を受けている。

経過はすこぶる良好で、自分なりに云えば通院卒業証書のお墨付きにあづかるものと期待している。

そんな矢先のことである。診察室で机一つはさんで医師と相対した。真つ先に気にかかったことは、いつものおだやかな顔が神妙な顔つきになっていた。

開口一番「BNPの値が、基準値の一・八・四に対して、五十倍の九一〇が血液検査で検出されました。一刻の猶予もままならない拡張型心筋症です。いますぐ入院して手術を施す必要があります。」

ちなみにBNPという値は、心臓から出るホルモンの量のこと、基準値の五十倍ということ、心臓に限界以上の負担を与えているということ

ある。

一瞬で、目の前が真つ暗になって、全身の力が抜け、文字通り真つ白になった。

が、次の瞬間、とつさにひらめいた。七十歳を過ぎた体力では、二度にわたる心臓の大手術は過酷過ぎる。たとえ無事に済んだとしても、病床に伏す生活を余儀なくされることであろう。さらには、この世との決別になるかも知れない。その双方がからみ合って、かえって冷静さを取り戻した。

この際、やり残したことを成し遂げるために、果敢に振るまつて、きれいに逝きたい。「先生に手術は遠慮いたします。そのことよって、先生のご診断に、万が一にもご迷惑をおかけいたすことは、絶対にいたしません。」

わずかな間であったが、医師と自分との間に、重苦しい沈黙が覆った。先刻見とどけた医師の神妙な顔つきが、緊張の相に変わったように思われた。

「日本人魂ですね。わかりました。今日から薬の量を増やしておきますから、忘れずに飲んでください。」

病院を後にして眺めた見慣れた街並みが、妙に新鮮なスクリーンの映像のように、目の中にとび込んできた。

医院での、医師とのやりとりは家族に伝えな

かったが、さっそく周辺の雑多な品々を整理処分し、旅立ちへの伝言と題して書置きをしたためた。

気疲れも手伝って、その日は早々と床に就いた。ところが、翌日の早朝になって、右足の太ももに猛烈な痛みが生じて、布団に金縛りになった。あえぎ、もたえ断末魔の激痛にこれぞ最後の洗礼かもおもえた。

余程、救急車のお世話になるうかと思つたが、昨日、医師と交わした一問一答の経緯を思い起こして、このまま逝ってしまったも本望じゃないかと、吹き出る油汗を拭う間もなく耐えに耐えた。

そんな最中だった。二階の部屋で一人苦しんでいた枕元に、わが家の猫が、いつ登って来たのかわからないうちに、枕元で両足を揃えた、いわば正座の姿勢で、細い声でひと声ふた声泣いた。

餌の催促に来たのではないか。時と場合によっては、これが最後になるのかも知れない。そう思うと、何としても与えておきたいと思う気持ちが先に立った。

渾身の力を振りしぼって、布団から抜け出した。猫が先導する風情で、階下の餌場へ。先ずは第一歩。猫の姿を見るのも、これが最後とまで観念して後についた。二歩。そして三歩目を踏みしめた時であった。たった今が今まで激痛に襲われ、断腸の思いでしのいでいた激痛がにわかに消え去った。なんと解したらよいのだろうか。猫の恩返しによる神通力と解するのが正解だろうか。

以来、以前にも増して物事に好奇心と興味が旺

盛になり、月に一回の「史跡探訪ウォーキング」を立ち上げて、神社・佛閣・名所などのガイド役を買って出ている。回を重ねるに従って参加者が増え、昨今では二十名前後の賑わいになっている。

それも、これもわが家の猫の加護による恩恵だと心得ている。

きょうも枕元に早朝の訪問があり、猫と連れだって階下の餌場へ向かったが、これが一日の「ことはじめ」になっている。

新米の駅員当時を思い出すこのごろ

蟹江支部 古川清雄

国鉄で三十七年間勤務し、安心して年金を頂き、今年八十三才になった今、私の思い出はなんといつても最初に勤務した鳥居松駅(現春日井駅)の三年三ヶ月であつたと思います。

一 中学校を三ヶ月繰り上げ卒業し、昭和十七年一月七日付で、鳥居松駅職務掛を拝命し、直に着任致しました。当時、中央線は単線で、C58、D51型機関車が客車、貨車を引っぱっていました。

当時、下り高蔵寺駅までは八分程所要時間がかかり、列車本数のネックになっていました。間もなく神領信号場ができました。戦後複線電化され現在では大きな電車の基地になりました。

二 最初に出札の見習いをしました。軍事工廠の關係で、新潟県、富山県、長野県から徴用で、多数

の若い男女の方が来ておられました。

日曜日になると非常に混雑し、一つの窓口で対応できないので、駅前に小屋を立て、この出札窓口で名古屋方面の乗車券を発売しました。間もなく裏駅が出来たので、小屋の出札窓口はなくなりしました。出札担当の中野さんが春入営され、秋には英霊になって帰ってこられました。戦火の厳しさが身に染みしました。駅裏窓口の出札を二ヶ月程やりましたが、貨物担当の小島さん(三十才位)が応召されましたので私が貨物担当をやることになりました。

三 着任当時の鳥居松駅は、陸軍の軍事工廠の基地で、鳥居松、鷹木、西山の三工廠及び鳥居松補給専用線及び不二見焼、市場の側線、並びに、東邦砂利専用線(高山線の少ヶ野信号場を新設のとき、庄内川の砂利を運搬のため使用され當時休止中)がありました。駅舎も改築中で、夜下り一番線にワム一両を入れて寒さにふるえながら寝ました。勿論、風呂は一度も入ったことはありません。当時の駅員は三十人位で、昭和十八年ころから女子職員も採用され、出札担当は女子職員が徹夜勤務しておりました。間もなく鳥居松町も、町村合併で春日井市になり、駅本屋もでき(OB会報第三号の駅探訪参照)駅名も現在の春日井駅と改名されました。

四 私は貨物担当となりましたが、当時の発送品は軍用品と磨砂及び亜炭でした。到着は陸軍が供用令により買付けた木材が到着し、未卸車が多数出て狭い構内に一〇〇両程滞留し、ベテ

ランの操車担当の奥谷さん(四十五才位)が苦勞されましたが、そのお蔭で私は助かりました。日勤の私も奥谷さんも毎日二十時過ぎの帰りでした。入換え機関車はC11型で、高蔵寺と春日井の共用でした。

間もなくして小牧に飛行場ができ、その部隊の移動があるようになりました。軍の秘密のため十五時ころになって、今夜二十一時ごろ臨時の軍用列車を出すと、名古屋停車場司令部の砥谷中尉から命令が出ました。それから駅長以下全員で関係個所と連絡をとり、自動車を積むため側板の総開きの貨車(当時の七〇〇〇型式のトラ)を下り列車から解放し、下り一番線に入れてトラックを積みました。客車一両に貨車十五両程で一個列車を組成しました。臨時列車は三回程出した記憶です。

五 昭和十九年四月一日付で稲沢駅車号掛を拝命し、転勤になりました。

私は当時十七才、十八才の若い新人でしたが、責任ある仕事を無事完遂させて頂いたのは、よい駅の上司、同僚をもつたのと、日通の職員及び仲仕(約三十人)の協力があつたものと、今でも懐かしく思い深く感謝しています。なお、前文にありました名古屋停車場司令部は、軍用列車等が円滑に行くよう大駅にあつたそうです。砥谷中尉は名古屋鉄道局の方で応召で司令部に居られましたが戦後、尾張一宮駅長になられたとき、貨物担当時代にお世話になったお礼を申し上げたところ、当時は戦争に勝つたため、お互いに無理

を言つて大変でしたねと、ねぎらいの言葉をいただきました。

日々の思いあれこれ

蟹江支部 東昇

はつとして目が覚めた。

ああ今朝も生かされている自分にありがたさを感じる。

① 毎朝、床を離れる前に簡単な運動をしている。

まずは目の体操。左右上下に動かして瞬きをすす。首筋両側の下方へのマッサージをした後は、両手指のみほぐしと両手両足の同時屈伸。背伸びをし、肩の上下運動をしてあごを上下左右に動かしてから床に座る。

② 肩を左右交代に叩く。次に頭を両手開いて指を立て、前後に力強くマッサージ。やつとこれで床から立ち上がり寝巻きから普段着に替える。

布団の上で作業をやる。勿論妻の分も併せてだ。これは健康保持に役立つからだ。

健康のためと思えば何の苦悩もない。心の持ち方だと日々思う。

二階に上がりお経を唱える。般若心経である。目前には祖父母、父母の遺影が並んでいる。毎朝必ず戒名をうたい日々元気な自分を見てもらい「ありがとう。今日も一日お守り下さい。」と祈る。

もうこの行は、結婚して十年くらいたった頃からだ。三十数年にもなる。お参りが終わるとラジオ体操(カセット)第一、第二の十分を欠かしたことがない。心身ともにさっぱり一日の始動に大きな役割を担っている。

朝食後、部屋の掃除は私の仕事、身体を動かすことに生きがいを感じ掃除が終わった後の気分はとてもすがすがしい思いだ。

私ども夫婦は、スポーツジム通い週二〜三回、書道教室へは週一回通っている。これだけのタスクは、なかなか二人の生活を張りのあるものにしてくれる。

スポーツジムに行けば、女性八十%以上の活況をみて世の女性のバイタリティをはだで感じ、そのパワーを当方はちよいと拝借しているようなもの。

日によっては気の進まない日もあるが、ジムに行けば不思議なパワーが私達を支えてくれる。それが一体何なのだろう。

自分の運動は、ウォーキング、自転車こぎ、プールを通じ約二時間にわたる。あとジャグジー、スチームルームで心身ともリラックス。

世にこんなよいものがあるのだと満足げだ。ときには娘と三人で家族気分のジムを味わっている。

一方、書道教室の予習を二人揃って対面で落ち着いて筆を執ることの幸せ、楽しみをかみ締めていく。

これからも二人互いに補いながら末長く心の平静を保つとともに、常に前向きに生きがいと活力を求めて精進したいと思えます。

雑記帳より

稲機支部 梶浦治郎

我が家に、「雑記帳殿堂」なるものがある。

残したい事柄を記し、旧仮名遣いや、写真入りの捨て難い年賀状等を貼付した単なる冊子に過ぎぬが、折りにふれ殿堂扉を開き、時の推移や自分史を知る貴重な宝です。

『友を偲ぶ』

寝静まった深夜遠くの車両基地から微かに汽笛が。へー〇ー「あれは確かパン上げの合図だったな」と呟き、薄れかけた在りし日の記憶が尽きることなく蘇る。

安全を至上の命として輸送業務に精勤した、あの日。あの頃。友は今…。

動輪の徽章に憧れ少年は

いつしか八十路夢覚め遣らぬ

『姉と栗の実』

妻逝きて傷心を癒そうと、何年振りかに古里を訪れる。随所に昔日の風情が漂う野に暫し佇む。

その夜は、今も罌籜とした兄妹五人集い、鉄瓶滾る囲炉裏を囲み郷土料理を堪能する。誰かが言った。「合わせて四百歳か、達者だなあ」。傍らで姉が「明日は栗飯を炊こうかな」と器用に栗皮を剥く手を休めない。母の晩歳となった姉のその仕事は、こまめに立ち回る姉さん被りの母の姿と重なる。

亡き父母や妻に、もう一度この和やかな雰囲気

をと思いを馳せ、炬端の賑いは尽きることなく山里の夜は更ける。

栗剥きし姉の仕草の母に似て

『アスベスト』

公害で揺れる問題児のアスベスト。報道は「かつての国鉄のSLや駅舎にも……」。

今や、その(国鉄)の文字を見聞する機会がめっきり減った。

「爺の年配はな、国鉄と言えば先ずSLじや。驀進する鉄塊。我が物顔の煤煙。勇壮な汽笛の響き……。夢があつたな。それに、あの頃は公害に関して今程厳しくなかつたとおもうよ」。孫を膝に今日も爺の得意話は続く。

煤払い逃げ場に惑う爺と孫(サンデー毎日)

『背高泡立草』

黄昏迫る散歩道に泡立草生い茂る。随分と歩いた。行き交う人黙して足忙し。「只今」の声する家に灯点り、夕餉の香り微かに漂う。腹虫目を覚まし、背中にべつとりと汗。

万歩計覗きて踵家路向く

腕組むカップル吾れを追い越す

母の国偲び健気に鉄道草

汽笛一声津々浦々に

『世相』

その年の世相を表す漢字の一字「偽」実に不愉快。筆執る老僧の背に「怒」が滲む。

私の一字は「懐」が殿堂入りした。さてOB会は。更なる躍進と会員の幸せを祈って、素晴らしい一語で締め括ろう。

心臓に穴が空いていた

岐阜工事局支部 弓桁英二

「心臓の音に異常がある。」と告げられたのは、昭和二十四年十五才の時であった。心電図をとつたら異常があつた。しかし、当時は戦後間もない頃でありどうすることも出来ない。

診察医は「診たところ元氣そうだからあと三十一年位は大丈夫だろう。その頃になれば医学も進歩して助かるだろうから、心配しなくてもよい。」と慰めてくれた。但し、「深いところで泳いだり、高い山に登ったりしてはいけない。」と言われた。

高校を卒業して国鉄の入社試験を受けたときは心配であつたが、なにも言われなかつた。時々、検診のとき注意するように言われたが、さしたる自覚症状がないまま時は過ぎていった。

国鉄も退職して、第二の職場で六十才のときJR病院で精密検査を受けた。「君の心臓の左右を隔てた壁に穴があいている。生まれつきのもんだが、今まで生きてきたからすぐ死ぬようなこともないだろう。もう少し様子を見よう。」と言われた。

それから八年が過ぎた平成十四年、担当の先生の紹介状を持って長女が看護師として勤める、岐阜市民病院、心臓病棟に入院検査を受けた。

血管に造影剤を注入する検査をして、妻と長女と一緒にビデオを見て驚いた。なんと心臓の中核壁に直径三センチもあるかと思える穴が空いて

いるではないか。体内↓左心室↓肺↓右心室↓体内の流路が、血液の三分の二程が逆流して、左心室↓肺↓左心室と空転している。いうならば、人様の三分の一のエンジンなのだ。

こうなつたら観念せざるを得ない。「先生、こんな状態でよく今まで生きてこられたものですね。」と質問すると、先生は「それはこの世に神様がいらつしやるからです。」と答えられた。

二ヶ月後、再度入院して手術をした。当日の朝、伊勢大神宮と他二体のお守りを手にお祈りをして手術室に搬送された。

この世の見納めかと周囲を見回す間もなく意識が無くなつた。気が付くと、両手両足をベットに括り付けられ寝かされていた。口には太い管が突っ込まれ、身体中に管や注射針、針金の類が突き刺さつていて身動きも出来ない。三日間の苦しい集中治療室の生活を終わり、個室に三日間いた後大部屋に移された時は嬉しかった。

その後は以外に回復は早く、手術後三週間で退院できた。退院の日のビールの味は五臓六腑にしみわたつておいしかった。

手術の前と後では、なんだか違う人間になつたような気がしてならない。悟りを開くとはこういうことなのかと思つた。

あれから五年余、助けて頂いた病院の先生やスタッフの皆様、妻と長女に感謝して天命を全うしたいものである。

短 歌

メタボりに全く嵌らす体形を

喜ぶとするか極瘦せ体質

「いづれかは咲くよ」気安く差し上げし

花が三つも開いた便り

浜松支部 原 哲

しらみゆく吾れ育みし伊勢の海

港出てゆく漁舟朱に染める

紅白に競う球入れ挑む子等

思いにはずる球のゆくゑ追う

四日市支部 小川 勇

クレーン車二百五十トンの竿立ちて

夕焼け雲も吊られてゆけり

踏切の立体工事の塀高く

パンタグラフがすべりてゆきぬ

上伊那支部 竹内滋一

星野ジャパン取りもとったり北京キップ

ここがジャパンの見せどころかな

お召列車アツという間に通り返ぎ

傘の滴に涙重ぬる

陶都支部 松浦芳夫

十和田湖の水は瀬に鳴り瀾となり

流れは木の間に紅葉をうつす

朝霧の秋の深山を抜けて来て

発荷峠に湖を見下す

裾野支部 池谷秀夫

俳 句

冬の間近に見ゆる今朝の晴

残る葉の梢にふるえ秋惜しむ

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

寒林の静寂破ぶる野鳥かな

錦秋の古城の天守琵琶湖見ゆ

西濃支部 高畑正良

老いて尚昆布巻のみ手伝いし

孫帰り大きな松を活けにけり

春日井支部 秋田濠子

全身を耳にして聞く初音かな

遠き日を白雲に置く卒業歌

山東支部 久保田かよ子

春の夜や天上走るねずみかな

みかん風呂卒壽二人の楽天池

滋賀県支部 谷川虎太郎

書初や好みの一句へ筆下ろし

居眠れど筆は落さじ春の風

名城東北支部 岡本清一

諏訪湖より水切れゆく初明かり

八ヶ岳肩いからせて眠りをり

浜松東支部 大倉照二

川 柳

ゴルフより土筆蕨に目をとられ

ギシくとあぶら欲しがる適のコース

名古屋東支部 加藤寿美夫

子等祝う金婚式も孫主役

偽りもなく生き百の風を待つ

富士宮支部 渡辺定善

残照へ平和信じる万歩計

生命線の起伏へ悟りきる余生

大府支部 藤井芳雄

七草の粥でお別れ屠蘇機嫌

店頭で年と相談靴の色

美濃太田支部 三島次朗

ポイントを割ったところで目がさめる

物忘れ部屋を徘徊する身となりて

中津川支部 細江 勲

伝文の余白を読んで意を悟る

癖球の画く軌跡を読み損ね

岐阜工事局支部 弓桁英二

耳遠いだけ負けずに生きている

もう齢だこれから無理をせず行こう

沼津支部 山田寿男

駅探訪

高山本線 飛騨萩原駅

●開業/昭和6年5月9日
●所在地/岐阜県下呂市萩原町



高山本線の起点・岐阜を出発した特急「ワイドビューひだ」。途中、車窓から日本ラインや飛水峡、中山七里など自然美を心ゆくまで楽しむ。1時間20分程で今回の目的地・飛騨萩原に到着した。平成18年5月、萩原町で開催された全国植樹祭に天皇・皇后両陛下がご臨席され、当駅からからも各列車が運転された。この年、駅舎は装いを新たにしましたが、駅前にある円筒形の郵便ポストは以前と変わらずその微笑ましい姿を見ることが出来る。

萩原町は飛騨地方の南部に位置。周りを1000m級の山々に囲まれ、町の中央を飛騨川(益田川)が流れる。平成16年に小坂町・下呂町・金山町・馬瀬村と合併して下呂市となった。

駅から北におよそ15分歩いたところにある久津八幡宮はぜひ訪れたい場所のひとつだ。飛騨の二宮として信仰を集め、境内には樹齢1200年以上と言われる夫婦杉が立っている。飛騨の匠の作と伝えられる拜殿の「水」を呼ぶ鯉や本殿にある「鳴きウグイス」の彫刻も有名だ。昔はなし「水呼ぶ鯉」には、益田川の水を呼ぶとされる鯉の彫刻の横に「矢」を彫り添えると洪水が起らなくなるといったエピソードがある。歴史ある彫刻は一見の価値がありそうだ。

飛騨川の西を流れる清流・馬瀬川では渓流釣りを楽しめる。清水の流れに耳を傾けながら、のんびりと釣り糸を垂らす。アマゴやイwana、そして初夏を迎えるとアユを目当てに解禁を待ちわびた愛釣家が全国から訪れるという。薄暮に包まれていく川面を後にしてそろそろ宿へ向かう。山里の幸を楽しみにして。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」3月号から抜粋し再構成したものです。

「会報への寄稿、文芸欄への投稿」要領

1 「表紙写真」

会報誌の表紙に掲載する写真も会員から募集しております。表紙の写真が会員からのものでなくては会報誌としての意義がありません。応募写真は、それぞれの会報誌発行時の季節にあつたもので、画面に列車等が入っていないでも結構ですが、JR東海エリア地域内のものが好ましいと希望します。カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータ(解像度A4サイズで三〇〇DPI以上)送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。

なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。また、お送りいただきましたもののうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体については、後日お返しいたします。

2 「支部だより」

OB会活動の原点は支部における活動であります。今後さらなる活性化のため、お互いにそれぞれの支部の運動方針や活動状況等を参考のために是非投稿して下さい。

なお、支部総会、支部クラブ活動、会員交流会、増収協力旅行、清掃美化運動、事故防止運動等支部からの「たより」を随時受付いたしております。テーマ、内容等は自由ですが、六百字目途にまとめ、執筆者氏名を明記し、状況のわかる写真をできるだけ一枚添えて下さい。

3 「読者のひろば」

会員からの「随筆、情報、体験談等」の寄稿を付けています。テーマ内容等は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望はいず

れか一枚以内とし、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

4 「絵手紙」

会員からの「絵手紙」の募集を随時受け付けています。色彩が鮮明なもので会報発行の時にあつたものを歓迎いたします。応募年月日、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

5 「短歌、俳句及び川柳」

会員からの「短歌、俳句及び川柳」の募集を随時受け付けています。

応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内の限り、会報誌発行の時にあつたものとし、記入の際に、「冠部の「短歌」「俳句」「川柳」と朱書し、応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名(本名を記入する)及び住所、電話番号を明記して下さい。

6 「掲載要領」

寄稿又は投稿された作品等は順次会報に掲載いたしますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節に合わせるなどとして、掲載が遅れる場合がありますからご承知下さい。

なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。

7 寄稿及び投稿先

〒四五〇〇〇〇二
名古屋市中村区名駅三―十三―十二
キヨスク名駅ビル内
東海鉄道OB会・会報編集係宛

編集後記

会報第十二号(四月号)の編集と今後のお願い
長かった冬も終わって本格的な春の季節となりました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨今では四月号で東海鉄道OB会の当該年度の基本方針を(案)として掲載してしましたが、今年度からは本部総会で決定した基本方針を次号(七月号)で掲載する予定です。

一四・六月は各地本支部で総会が開催されると聞いております。支部の活性化は、東海鉄道OB会の発展にとって不可欠のものであります。「地本・支部だより」の欄で各地方本部、支部からのホットな話題をお待ちしております。

二「読者のひろば」では、静岡支部の芹澤茂治氏と岐阜工事局支部の弓桁英二氏から共に心臓に関わる貴重な体験談を、また、蟹江支部の東昇氏からは、心身の鍛錬を日課として取り入れておられるお話を披露していただき、健康であることの大切さを痛感しております。

三表紙の写真は、名古屋機関区支部の加藤新一氏に投稿していただきました。いつもきれいな写真をありがとうございます。

四本部にメールアドレスを開設しました。詳しくは五ページをごらん下さい。話題、ご意見等どんどんお寄せ下さい。お待ちしております。

今後ともより多くの皆様、特に六十歳代の新入会員と遺族会員の方の投稿をお待ちしております。

(お詫び)
会報第十二号(正月号)の十八ページ二十代の思い出(垂井支部丸岡正氏の記事中最下段右から七行目「昭和二十八年八月十四日」とあるは「昭和二十八年八月十四日」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

(杉浦)

発行 千四五〇〇〇〇二
名古屋市中村区名駅 三丁目十三―十二
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部
発行人 杉浦 定行
電話 〇五二―五六二―一六〇八〇(FAX兼用)